アルコールさわやかキャンペーン

あなたのホロ酔いは？

お酒の上手な飲み方をPRし、酒による健康障害を防ごうという「アルコールさわやかキャンペーンにいがた」が行われ、パネル展、相談会、講演会などが開かれました。愛酒家のみなさん、お酒が〝百薬の長〟となるか、あなたの飲み方次第ですよ。

十二月に入るとお酒を飲む機会もグッと増え、血圧計や体重計、明日の仕事を気にしながらもつい飲み過ぎという人も多いはず。でもアルコールの取り過ぎが肝臓など健康に害があるのは言うまでもありません。

近年は世相の反映かアルコール依存症が増え、全国で約二万人、市内でも六百人の人が保健所などへ相談に訪れています。主婦の間にも増えているのも特徴です。

アルコール依存症は、本人だけでなく、経済的困難など家族も巻き込み、立ち直った後もまわりの支えが必要など深刻な病気です。

このキャンペーンは、アルコール依存症の恐ろしさを知らせ、またそこから立ち直った人たちの協力体制を強めようというもので、四年前から県内各地で行われていますが、今回新潟市を会場にしたものです。

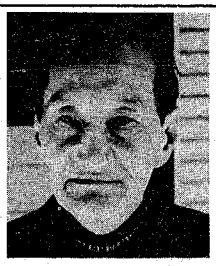
今年は市役所正面でのパネル展、飲酒と健康に関する相談会を五会場で開いたほか、十一月十五日には市社会福祉センターで、県醸造試験場場長嶋悌司さんを講師に講演会を行いました。

講演会では「さけは神の食事の意味。おみきは神の持つ不思議な力といった意味で、本来酒を飲むというのは気力を充実させるという願いが込められています。酔払ってだらしなくなるのは酒の意に反する」など語源にさかのぼって適正飲酒を勧め、また「ウイスキーは水割りで飲むのが主流になって、今一番濃いのは日本酒。一升びんからおちょうし一本分取って、その分水で薄めると非常に飲みやすく、体にもいい。ぜひ試してみて下さい」と連量を守る飲み方も講演しました。

最後は酔い過ぎずホロ酔い加減を持続する量を紹介。体重六十キログラムの人が日本酒を飲む場合、最初の一時間に一八合、次の二時間目からは一時間ごとに〇・四合―がその量とか。あなたはほろ酔い加減を保てますか。

15日行われた講演会

クローズアップ



酒害克服体験を生かす
断酒会会長および相談員
安藤　正さん（63歳、万代六）

「アルコール中毒を治すには〝元（酒）を断たなければダメ〟、理屈じゃないですよ」

安藤さんは自分の酒害克服体験を生かして、酒害相談員〟として活躍中。全日本断酒連盟常任理事、新潟地区断酒友の会連合会会長も務める。

酒を覚えたのは十七歳のとき。高校を卒業し、中国に渡り満州鉄道に勤務。寒さしのぎにアルコール度六〇％ぐらいの〝焼酒〟を飲み始めた。戦争が始まると入隊。持ち歩く水筒の中は水でなく、〝酒〟。こうして三合ぐらい毎日飲み続けた。捕虜となったときは〝航空用ガソリン〟まで飲んだという。

復員して、市内の大手会社に勤めた。「毎日どんぶりでがぶ飲み、二升ぐらいずつ飲んでいた」

十年程たつとひや酒二杯ぐらい飲んでいる状態が普通になり、飲むと能率が上がる。だんだん酒量も増えた。「酒場の風景を思い浮かべるだけで顔が真っ赤になり、あぶら汗が出る。幻聴が起こる。ひどいときは一匹のハエを見ても、ハエの大群が襲ってくるような幻覚症状も表われた」。典型的なアルコール中毒性。

こうして働き盛りの歳で仕事もうまくいかず退社。

四十六年六月、「一人では、いくら強い精神力があっても酒をやめることはできない。友達をつくろう」と奥さんのミサヲさんと二人で、県下で初めて「断酒友の会」を発足させた。

「二日酔い、下痢、関節の痛みなどの症状が出たら赤信号」。アルコール中毒にかかるのは「対人関係がヘタで、くそまじめ、融通がきかない人がなりやすい。そこでストレスのはけ口を酒でする」と経験談も。

「今でも飲みたいですよ。夜、テレビに升酒の宣伝がでるとにおいがするときがあります」

奥さんも婦人部会を発足させ、酒害相談員として全面的にバックアップ。「だんなさんのグチを聞いてやるような奥さんになることが一番大事。本人も苦しんでいるんだから。奥さんの協力がなければ絶対ダメです」ときっぱり結んだ。

情報公開

「市民の意見を聴く会」開く

市では情報公開について検討を続けてきましたが、さる十一月九日、この制度について市民から意見を聴く「情報公開推進懇談会」の第一回目の会合を開きました。

情報公開は、行政のもつ情報についての市民の知る権利を保障し、積極的に情報を公開することにより、市政への市民参加を進めるというものです。この試みは全国的にも一つの潮流となっており、山形県金山町を皮切りに神奈川県、埼玉県川崎市などが実施。多くの地方自治体で制度化が研究されています。

市でも五十六年から関係課が集まり、「情報公開準備調査研究班」を設置。制度上の課題が残っており今後も慎重に作業を進めてゆく考えです。

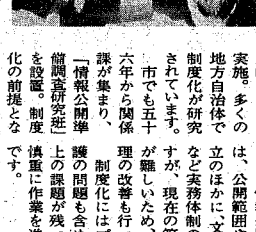
公開に適さない文書の実態調査を行ってきました。また、公開の範囲、システムなど制度に伴う一般的、基礎的問題について検討を行い、七月に報告書としてまとめました。

このたび開かれた懇談会は市民に利用しやすい制度にするため、市民がどんな情報をどういうシステムで得たいかを聴こうというもの。新大教授、弁護士、主婦など九人の委員の各々の立場からまったく自由に発言してもらいます。懇談会は今年度中に五回開かれ、この内容は今後制度化に反映されます。

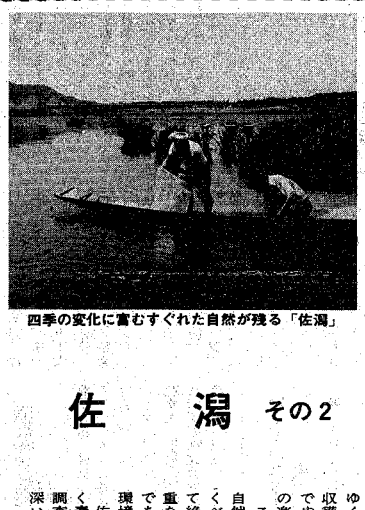
来年度からはプロジェクトチームを設け制度化を具体的に検討を進めます。

また情報公開制度の実現には、公開範囲やシステムの確立のほかに、文書の整理、保存など実務体制の整備が必要ですが、現在の管理状態で対応が難しいため、実際の文書管理の改善も行っています。

制度化にはプライバシー保護の問題も含め、制度、実務上の課題が残っており今後も慎重に作業を進めてゆく考えです。


九日行われた「市民の意見を聴く会」

新潟の自然 ⑤


四季の変化に富むすぐれた自然が残る「佐潟」

佐潟　その2

佐潟湖畔の稲刈りが終わりに近づくころ、フトイ、カンガレイ、ホタルイなどが秋風に穂をなびかせ、岸ではイヌゴマ、ハッカの赤紫花やワスレナグサの淡紫花がゆく秋を惜しむ。やがて名物赤塚大根の収穫も終え、木枯らしと共に冬が駆け足でやって来ると、潟はカモやハクチョウの楽園にかわるのである。

このように四季の変化に富むすぐれた自然が市内にあるということは、誠に驚くべきことであり、市民の憩いの場として絶好のものといえよう。市でもこの貴重な佐潟を自然公園にすべく鋭意努力中であるが、諸般の事情がからみ、周囲の環境並びに潟の状況は刻々変化している。

佐潟は文化財としても後世に伝えていく責務があり、それには、より科学的な調査と一般市民、特に地元の方々のより深い理解と協力が必要である。

尾崎富衛（中央高校教諭）

有明センター秋季老人体力テスト

日時　12月5日午後1時半～3時
会場　有明センター（西有明町）
対象　市内在住60歳以上の人で、今年春1回目を測定した人
種目　前回と同じ7種目
申し込み　直接または電話で有明センター（☎31―3082）へ

軟式庭球ジュニアクラブ員募集

練習日時　12月～来年3月毎週土曜日午後2時～5時
会場　市体育館、北部総合コミュニティセンター（旧市立工業高校）
対象　小学校3～5年生　男女50人
参加費　月5,000円、保険料500円
申し込み　12月1日まで電話で片桐輝久（☎65―4107）へ

「建設木くず」の産業廃棄物指定説明会

日時　11月29日午後1時半～4時半
会場　中央公民館5階ホール
対象　建設業または関係者
問い合わせ　市公害規制課（☎28―1000）へ

催し物案内

日時	催し物	会場；その他
11月27日午前11時～午後3時半	鶴池寿吾会 会津藩13回記念墓参	県民会館小ホール（入場無料）
11月29日午後7時～	第5回コンサート・フォア・ミセス ピアノと朗読による サロンコンサート	万代シルバーホテル5階万代の間（会費2,000円）申し込み…… 酒井（☎83―0297）
12月3日午後1時半～	第29回新潟市母と母教師の大会 寿品章子「二度と歩むまい、いつか来た道を」	ニュー越路（入場無料）問い合わせ…☎22―9839
12月4日午後1時～4時	新潟県高校生英語スピーチ・コンテスト	シルバーポール3階ホール（入場無料）

献血車「ゆうあい号」

月日	時間	会場
11・28	午後1時半～3時半	第一港湾建設局新潟港工事事務所（入船町4）
11・29	午前10時～午後4時	ウオエイ内殿店前（内殿店）
11・30	〃	ウオロク茨曽店前（幸栄3）
12・1	午前9時～正午	東北電気工事㈱新潟支社（東万代町）
〃	午後1時半～4時	新潟病院（女池神明1）
12・2	午前9時～11時	新潟鉄工所㈱大山工場（大山町）
〃	午後1時～4時	〃　大形工場（岡山）
12・3	午前10時～午後4時	ダイエー新潟店前（万代1）

※正午から午後1時まで受け付けを休みます。

オーストラリアクィーンズランド州
民泊家庭募集

滞在期間　来年1月13日～15日
申し込み　電話で県世界青年友の会・浜田（☎76―6975）、堀川（午後7時～9時まで☎73―6083）へ

幼児のむし歯予防にフッ素塗布

対象　1歳半～4歳未満児
受付　午前9時半～10時半
持参品　母子手帳、タオル、料金500円
申し込み　電話で各会場へ（中地区保健センターは東保健所へ）

会場	月日	定員	備考
東保健所	12月12、26日	各40人	2回目以降の方は、フッ素番号をお知らせ下さい
鳥屋野地区保健センター	12月5日		
石山地区保健センター	12月21日		
中地区保健センター	12月19日		
西保健所	12月9、15日	各30人	
坂井輪地区保健センター	12月23日		

成人病食事相談

日時　12月7日午後1時～3時
会場　石山地区保健センター
申し込み　電話で会場へ